

～「2017 第1回 ビブリオバトル」開催～

楽しかったです!!

「全部読みたくなかったです。」

7月10日(月)放課後、今年度第1回の「ビブリオバトル in 小松高校」が開催されました。

回を重ねるごとに、バトルと呼ばれる出場者の熱意と興奮が聴衆に伝わり、参加者が本について楽しく話を聞きあえるようになっていきます。今回は2,3年生の5名がバトルとして出場しました。



紹介された本は次の5作品です。



〈バトルの皆さん〉

『十角館の殺人』(綾辻行人 著)

『妖怪アパートの幽雅な日常』

(香月日輪 著)

『電車男』(中野独人 著)

『死神の精度』(伊坂幸太郎 著)

『ヤバイ経済学』(スティーヴン=レヴィット 著)

最後に参加者全員の投票で決まった、今回の「チャンプ本」は！
……投票接戦の中、『死神の精度』に決定しました。

本好きな方々の語りは伝わるものがありました。



〈生徒の感想より〉

私はこれまで本というものに触れずに生きてきました。しっかり読んだのは読書感想文を書かなければいけないときくらいだったと思います。しかし高校に入り現代文の授業がとても楽しいなと思うようになり本を読みたいなと思うようになりました。でもなかなかその時間をとることができませんでした。

今日、本が好きな人が紹介してくれたのを聞いて本当にその本を愛する気持ちが伝わってきたし、たくさん本を読んでいるからか、私よりもたくさんの考えも持っていたりとても話が上手だったりしました。今日で読書もより魅力を感じることができました。何から読んでいいかわからないので時間ができたら今日紹介された本から始めてみようかなと思いました。